

- 問1 三重県を含む日本の太平洋側に位置する地域の気候について、季節風が与える影響とその特徴を説明した文として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。（2017年 三重県公立入試 類似）
1. 冬は北西からの季節風の影響で雪や雨が多くなり、夏は南東からの季節風が山地で遮られるため乾燥する。
  2. 夏は南西諸島からの暖かく湿った空気が流れ込み、冬はシベリアからの季節風が直接吹き込むため一年中雨がが多い。
  3. 一年を通じて季節風の影響が小さいため、季節ごとの降水量の変化が少なく、年間を通して温暖である。
  4. 夏は湿った季節風の影響で降水量が多くなり、冬は山を越えた乾いた風が吹くため晴天が続いて乾燥する。
- 問2 自然災害が発生した際に予想される被害の範囲や、避難場所・避難経路などの情報を地図上にまとめたものを何というか、最も適切な名称を答えなさい。（2023年 栃木県公立入試 類似）
1. 地形図
  2. 都市計画図
  3. ハザードマップ（防災マップ）
  4. 土地利用図
- 問3 日本列島の東側に位置する太平洋上では、北から流れてくる千島海流（親潮）と、南から流れてくる日本海流（黒潮）がぶつかり合っています。この海域が「潮目（潮境）」と呼ばれ、世界的な好漁場となっている理由として適切な説明を選びなさい。（2020年 新潟県公立入試 類似）
1. 寒流が運んでくる流水が、魚の隠れ家や産卵場所として最適な環境を形成するため
  2. 暖流の熱によって海水の蒸発が盛んになり、海中の塩分濃度が魚の成長に適した水準まで高まるため
  3. 海流がぶつかる衝撃によって海底の栄養分が地表近くまで巻き上げられ、水温が急激に上昇するため
  4. 寒流と暖流が混ざり合うことでプランクトンが豊富になり、それらを餌とする両海流の魚が集まるため
- 問4 岩手県の三陸海岸南部や三重県の志摩半島に見られる複雑な海岸線は、地学的な分類において、地殻変動や気候変動に起因するどのようなプロセスで形成された海岸に分類されますか。（2017年 静岡県公立入試 類似）
1. 堆積海岸
  2. 隆起海岸
  3. 沈水海岸
  4. 離水海岸
- 問5 桜島などの火山が位置する鹿児島県において、過去の火山災害の状況を記した「自然災害伝承碑」が、現代の防災対策において重視されている理由として最も適切なものはどれですか。（2026年 岐阜県公立入試 類似）
1. 噴火が発生する正確な月日を科学的に予知し、事前に住民へ知らせるため
  2. 火山灰の堆積を防ぐための特殊な壁を建設する場所を決定するため
  3. 碑を設置することによって火山の活動自体を抑制し、噴火を未然に防ぐため
  4. 過去の被災状況を知ることで、住民の防災意識を高め、将来の迅速な避難行動に繋げるため
- 問6 南海トラフ地震による被害が想定されている地域について、地形的な特徴に基づいた説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 富山県公立入試 類似）
1. 内陸部の活断層が直接の原因となるため、津波の心配は全くないとされている。
  2. 海底で新しいプレートが形成されることで、海水の水位が急激に下がる現象が予測されている。
  3. 日本海側に位置する富山県などの沿岸部で、津波の被害が最も大きくなると予測されている。
  4. 太平洋沿岸の広い範囲において、大規模な津波の到達が予測されている。
- 問7 北からの寒流である千島海流と、太平洋側から吹き込む夏の季節風の関係に関する説明として最も適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。（2026年 宮崎県公立入試 類似）
1. 暖かく湿った夏の季節風が冷たい千島海流によって冷やされるため、太平洋側に濃い霧が発生しやすくなる。
  2. 冷たく乾いた夏の季節風が温かい千島海流によって暖められるため、太平洋側に集中豪雨がもたらされる。
  3. 暖かく乾いた夏の季節風が冷たい千島海流の上で下降気流をつくるため、太平洋側は連日快晴となる。
  4. 冷たく湿った夏の季節風が温かい千島海流の上で発生させる上昇気流により、太平洋側に大雪が降る。
- 問8 夏から秋にかけての降水量が非常に多く、年間の総降水量が二千ミリメートル近くに達する地域が見られます。このような「太平洋側の気候」において、特定の時期に降水量が急増する主な要因として正しい説明はどれですか。（2026年 埼玉県公立入試 類似）
1. 暖流である対馬海流の影響で、冬の間に雪雲が発達しやすいため
  2. 周囲を高い山に囲まれ、湿った空気が入り込みにくいいため
  3. 夏に南東から吹く湿った季節風や、台風の影響を強く受けるため
  4. 冬に北西から吹く湿った季節風が山地を越えてくるため
- 問9 川が山地から平地に流れ出るところに土砂が堆積してできた扇型の地形を何というか。また、その地形における代表的な土地利用の理由として適切なものはどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）
1. 地形名：扇状地 / 理由：水もちが良く、稲作などに適しているから
  2. 地形名：三角州 / 理由：水もちが良く、稲作などに適しているから
  3. 地形名：扇状地 / 理由：水はけが良く、果樹栽培などに適しているから
  4. 地形名：三角州 / 理由：水はけが良く、果樹栽培などに適しているから
- 問10 瀬戸内海沿岸に位置する都市の雨温図の特徴を説明したものとして、正しいものを選びなさい。なお、この都市の年平均気温は約16℃、年降水量は約1100mmであるものとします。（2018年 千葉県公立入試 類似）
1. 梅雨や台風の影響を受ける夏の時期に降水量が集中し、年間の合計降水量が2000mmを超える。
  2. 月別の降水量は毎月100mm前後で推移し、際立って降水量が多い月がなく、年間を通じて乾燥している。
  3. 夏は非常に高温になる一方で、冬の冷え込みが厳しく、1年を通じた気温の差（年較差）が日本で最も大きい。
  4. 冬の時期に降水量が急増し、12月から2月にかけての月間降水量が1年の中で最も多くなる。
- 問11 山地と平地の境界付近において、谷の出口にあたる場所が土石流の危険箇所とされる理由について、そのメカニズムを説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2021年 広島県公立入試 類似）
1. 山頂付近に比べて気圧が高いため、強風によって土砂が押し流されやすくなるから。
  2. 等高線の間隔が最も広い場所であり、雨水が地下に浸透して地表の土砂を浮かび上がらせるから。
  3. 急な谷を流下してきた水や土砂が、平地に出て勾配が緩やかになることで一気に堆積するから。
  4. 尾根に囲まれて日当たりが悪いため、地盤が常に湿っており、わずかな雨でも崩れやすいから。
- 問12 近年の日本の都市部では、短時間の集中豪雨によって道路や住宅が浸水する「都市型水害」が頻発しています。都市部において、このような水害が起こりやすくなっている主な理由として最も適切な説明はどれですか。（2022年 佐賀県公立入試 類似）
1. 高層ビルが密集して風通しが悪くなったことで、上空の雨雲が移動できなくなり、特定の地域だけに長時間雨が降り続くから。
  2. 地面がアスファルトやコンクリートで覆われている範囲が広いため、雨水が地下にしみ込みにくく、短時間で河川や下水道に水が集中するから。
  3. 都市部周辺で森林の整備が進みすぎた結果、樹木が雨水を蓄える能力が限界に達し、地表を流れる雨水の量が増加したから。
  4. 市街地に建設されたダムや遊水地の数が多すぎるため、放流された水が市街地の排水路に逆流して浸水を招いているから。